

2008年3月期第3四半期（4-12月累計）連結決算の進捗状況

2008年2月5日
アルプス電気株式会社

(単位：億円、単位未満切捨て)
(前年同期比)

(連結業績：公表値に対する進捗)

	2007/4-12月 実績	2008/3期 修正予想	進捗 率
売上高	5,338	6,850	78%
営業利益	197	200	99%
経常利益	180	165	109%
当期純利益	△64	75	-----
為替レート(USD)	117.28円	114.21円	
〃(EUR)	162.82円	160.87円	

(ご参考)	
当初予想	増減
6,770	80
200	----
180	△15
120	△45
117.17円	0.11円
161.15円	1.67円

2006/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
5,239	99	2%
209	△12	△6%
232	△52	△22%
63	△127	-----
116.19円	1.09円	円安
147.96円	14.86円	円安

(セグメント情報)

(売上高)	2007/4-12月 実績	2008/3期 修正予想	進捗 率
コンポーネント	763	1,000	76%
磁気デバイス	113	120	94%
情報通信	438	550	80%
ペリフェラル	923	1,125	82%
車載電装	815	1,085	75%
セグメント間売上	60	70	
【電子部品計】	3,114	3,950	79%
音響製品	1,918	2,520	76%
物流・その他	625	825	76%
セグメント間消去	△321	△445	
【合計】	5,338	6,850	78%

(ご参考)	
当初予想	増減
1,000	----
120	----
550	----
1,010	115
1,060	25
60	10
3,800	150
2,550	△30
825	----
△405	△40
6,770	80

2006/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
690	73	11%
445	△332	△75%
415	23	6%
702	221	31%
691	124	18%
41	19	
2,987	127	4%
1,944	△26	△1%
617	8	1%
△309	△12	
5,239	99	2%

(営業利益)	2007/4-12月 実績	2008/3期 修正予想	進捗 率
電子部品事業	81	65	125%
音響製品	63	70	90%
物流・その他	50	63	79%
セグメント間消去	0	2	
【合計】	197	200	99%

(ご参考)	
当初予想	増減
50	15
80	△10
63	----
7	△5
200	----

2006/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
65	16	25%
92	△29	△32%
48	2	4%
2	△2	
209	△12	△6%

①各事業の概況

<電子部品事業>

売上高 3,114億円(進捗率 79%) 営業利益 81億円(進捗率 125%)

(コンポーネント事業)

第3四半期売上高 763億円(通期予想に対する進捗率 76%)

上期に引き続き、携帯電話用コンタクトシートTMや携帯機器・車載用のスイッチ・ボリュームなどが堅調に推移。但し、12月に入って欧米におけるクリスマス休暇や年明けの携帯電話生産調整などにより、受注・売上ともに減少。これらは一過性の要因であり、年明け以降は復調するも、2月は中国における旧正月の影響もあり、3月以降の立ち上がりに注力。

(磁気デバイス事業)

第3四半期売上高 113億円(通期予想に対する進捗率 94%)

概ね、計画通りの進捗。

(情報通信事業)

第3四半期売上高 438億円(通期予想に対する進捗率 80%)

通信系モジュールは好調。個々の増減あるも、概ね計画通りの進捗。但し、第4四半期は第3四半期の反動を受け、全体的に落ち込む見通し。

(ペリフェラル事業)

第3四半期売上高 923億円(通期予想に対する進捗率 82%)

ノートPC・ゲーム関連デバイスが底堅く推移。年末商戦が終了し、第4四半期はボトムの時期であり、来期への端境期となる。

(車載電装事業)

第3四半期売上高 815億円(通期予想に対する進捗率 75%)

主要自動車メーカーの販売好調に支えられ、堅調に推移するも、急激な為替相場の変動や欧米におけるクリスマス休暇の影響などにより、売上の伸びはやや鈍化。為替動向の懸念はあるが、受注状況は良好であり、一過性の要因と捉える。

<音響製品事業>

売上高 1,918億円(進捗率 76%) 営業利益 63億円(進捗率 90%)

音響機器事業において、市販市場向けに投入した iPod[®] 対応のCDプレーヤーやヘッドユニットの売上が堅調に推移するも、PND市場の拡大にともなう規模縮小や価格競争激化の影響などから、売上は微減。一方、自動車メーカー向けは、DVDオーディオやCDオーディオを搭載した車種の販売は好調だったものの、欧州メーカーのモデルチェンジ時期にあたり、売上は減少。また、情報・通信機器事業では、国内市販市場において売上拡大を目指すも、日・米・欧の主要市場における価格競争激化により、売上が減少。自動車メーカー向けでは、カーナビゲーションや複合商品の純正搭載率は増加したものの、得意先の新車販売の中心が、燃費効率の高い小型車へとシフトしたことから、売上が減少。

<物流・その他事業>

売上高 625億円(進捗率 76%) 営業利益 50億円(進捗率 79%)

物流事業において、国内では、電子部品関係で新規の取引先を拡大するとともに、消費物流関係が生協の個配業務を中心に売上を拡大。海外においては、中国国内での貨物輸送ニーズの増加、あるいは日本を介さない海外間取引の増加など、グローバルな物流ニーズに対応した拡販を推進。今上期にはアモイ(中国)、フランクフルト(ドイツ)、下期にはマッカレン(米国・テキサス州)に新拠点を開設。

②為替影響額

当初計画 USD 117.17 (下期115.00)、EUR 161.15 (同160.00) → 第3四半期実績 USD 117.28、EUR 162.82

売上高

米ドル・ユーロ共に円安に推移したことから、第3四半期累計で **概算11億円** の増収要因

(参考：為替1円に対する売上高への概算影響額 USD 1.9億円/月、EUR 0.6億円/月)

営業利益

米ドル・ユーロ共に円安に推移したことから、第3四半期累計で **概算 3億円** の増益要因

(参考：為替1円に対する営業利益への概算影響額 USD 0.4億円/月、EUR 0.1億円/月)

(参考) 4Q予想 USD 105.00、EUR 155.00 → 通期予想 USD 114.21、EUR 160.87

③たな卸資産在庫

連結ベースでの2007年12月末の在庫金額は、同9月末と比べて69億円の増加(9月末 819億円 → 12月末 888億円)。

- ・ 電子部品事業：(同 499億円→538億円(39億円増))
→ 主にHDDヘッド用売却設備の固定資産からの振替へによる一時的な在庫の増加など。
- ・ 音響製品事業：(同 312億円→342億円(30億円増))
→ 主に海外売上拡大による製品在庫の増加や、クリスマス休暇による一時的な在庫の滞留など。

④2008年3月期(通期)の連結業績予想について

通期の連結業績は、残る第4四半期において、米国をはじめとした世界景気の減速懸念や為替の動向、及び足元の状況などから慎重に見なければならぬ要素は多々あるものの、第3四半期までの実績及び今後の受注状況などを鑑み、従来の連結売上高予想を上方修正。

一方、収益面では、電子部品事業における新規の減損損失の計上や、音響製品事業における売上高の減少などにより、当初予想を下回る見通しのため、従来の利益計画を下方修正。
修正の内訳については、上述の通り。

(業績予想の利用に関する注意事項)

上記に記載した将来に関する予想数値およびコメントは、本資料の開示日現在において入手可能な情報に基づき作成していますが、実際の業績等は今後、様々な要因によって予想数値およびコメントと異なる結果となる可能性があります。なお、本文中に記載の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以 上

2007年12月第3四半期 決算参考資料

2008年2月5日

アルプス電気株式会社

1. 経営成績 (単位：億円)

	2006年度					2007年度					
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q(予)	通期(予)
売上高	1,703	1,733	1,802	1,841	7,081	1,779	1,776	1,782	5,338	-	6,850
国内	408	423	486	465	1,784	508	477	509	1,495	-	-
海外	1,294	1,310	1,316	1,376	5,297	1,271	1,299	1,272	3,842	-	-
営業利益	73	49	86	10	220	62	69	65	197	-	200
経常利益	76	60	95	13	246	75	36	68	180	-	165
当期純利益	28	25	9	△14	49	34	△133	34	△64	-	75

2. 製品部門別売上高 (単位：億円)

	2006年度					2007年度					
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q(予)	通期(予)
電子部品事業	946	1,018	1,021	1,044	4,031	994	1,052	1,067	3,114	-	3,950
コンポーネント	223	241	225	235	926	253	254	254	763	-	1,000
磁気デバイス	169	161	114	80	526	60	41	10	113	-	120
情報通信	141	150	123	127	542	129	156	152	438	-	550
ペリフェラル	173	237	292	294	997	250	325	346	923	-	1,125
車載電装	227	216	247	280	971	276	259	279	815	-	1,085
セグメント間売上	11	10	18	26	67	22	15	22	60	-	70
音響製品事業	655	605	684	706	2,650	689	619	610	1,918	-	2,520
物流・その他	203	208	204	200	818	205	205	215	625	-	825
セグメント間消去	△102	△99	△108	△109	△419	△108	△101	△111	△321	-	△445
合計	1,703	1,733	1,802	1,841	7,081	1,779	1,776	1,782	5,338	-	6,850

3. 部門別営業利益 (単位：億円)

	2006年度					2007年度					
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q(予)	通期(予)
電子部品事業	26	15	23	△12	52	11	34	35	81	-	65
音響製品事業	27	17	47	8	101	33	20	9	63	-	70
物流・その他	17	16	15	15	64	17	14	19	50	-	63
消去	1	△0	1	0	2	0	△0	0	0	-	2
合計	73	49	86	10	220	62	69	65	197	-	200

4. 部門別設備投資・減価償却実施額 (単位：億円)

	2006年度					2007年度					
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q(予)	通期(予)
電子部品事業	84	72	55	82	295	78	59	51	189	-	266
音響製品事業	23	38	44	20	126	28	39	34	102	-	128
物流・その他	7	6	62	13	89	8	7	7	24	-	34
消去	△0	△2	△49	△5	△57	△0	△0	△0	△1	-	△0
合計	114	115	113	110	453	116	105	93	315	-	428
減価償却実施額	95	96	98	101	392	101	106	84	292	-	371

(注)設備投資については、実績は取得ベースで記載し、予想は発注ベースでリスを含んで記載しております。

5. 部門別研究開発費 (単位：億円)

	2006年度					2007年度					
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q(予)	通期(予)
電子部品事業	44	45	45	44	180	37	34	38	110	-	149
音響製品事業	79	79	75	69	303	74	70	73	218	-	301
物流・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
合計	124	125	120	113	484	111	105	112	329	-	450

6. 部門別棚卸資産 (製品、仕掛品、材料・貯蔵品) (単位：億円)

	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3		2007/6	2007/9	2007/12
	電子部品事業	573	534	515		478	491	499
音響製品事業	330	325	363	288	328	312	342	
物流・その他	6	7	8	7	7	7	7	
消去	-	-	-	-	-	-	-	
合計	910	867	888	773	826	819	888	

7. 従業員数 (単位：人)

	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3		2007/6	2007/9	2007/12
	期末従業員数	35,346	37,970	37,297		36,976	38,073	36,811
(参考)単独従業員数	5,908	5,908	5,844	5,777	5,952	5,912	5,851	

億円未満は切り捨て表示。